

3ウェイ3Dシステムの製作

2015年9月27日 小高

今回は、昔懐かしい3D方式のシステムです。

システム構成

中高音部:

エンクロージャ:密閉型、内容積:5.8L

トウィータユニット:Fostex FT96H、100dB/W(m)

スコーカユニット:TangBand W3-881SJF、88dB/W(m)

LCネットワーク:5kHzクロス、12dB/oct

低音部:

エンクロージャ:バスレフ型、内容積:44L

ウーファユニット:Fostex FW208N、90dB/W(m)

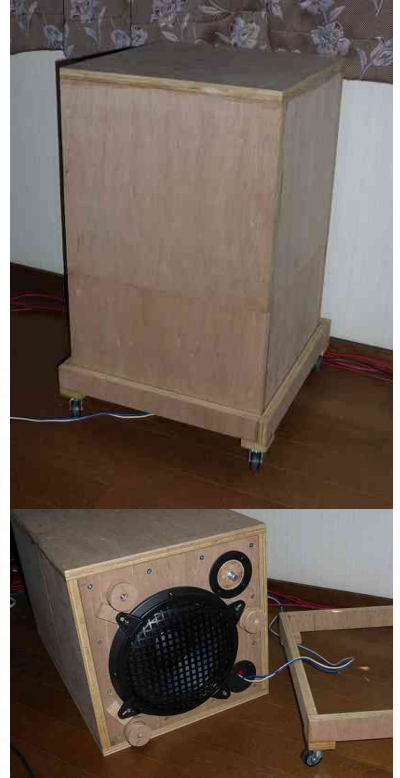
チャンネルデバイダ:

140Hzクロス、18dB/oct、ローブースト可(今回不使用)

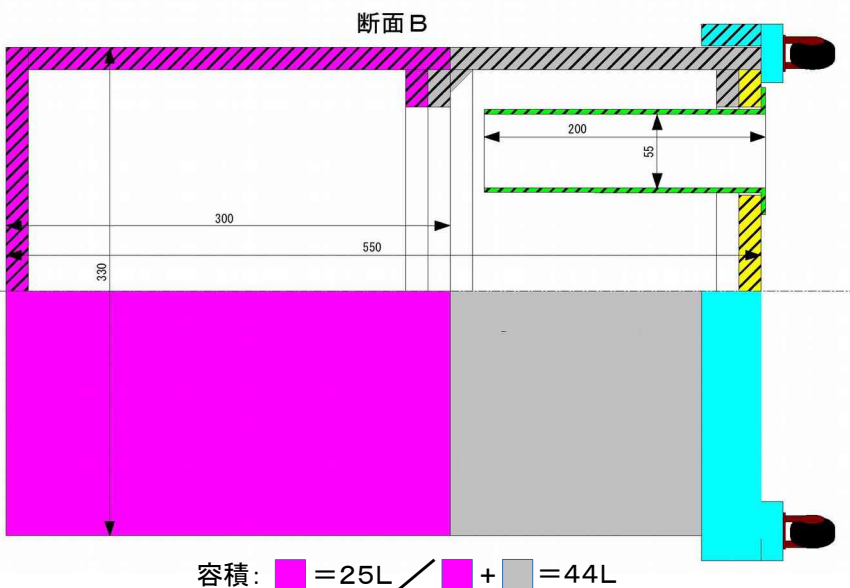
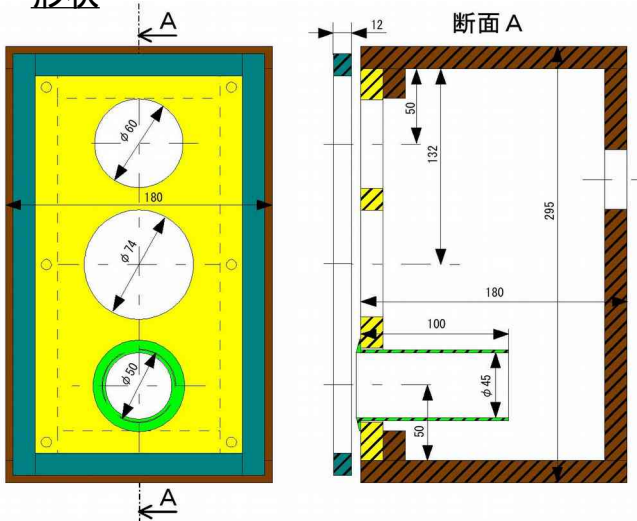
中高音部



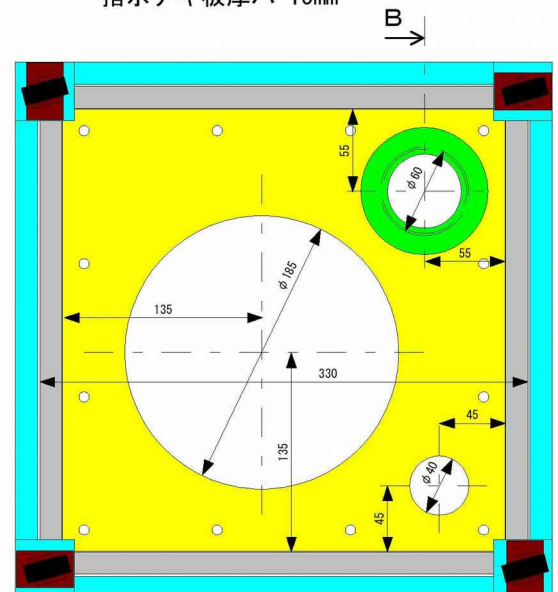
低音部



形状



指示ナキ板厚ハ 15mm

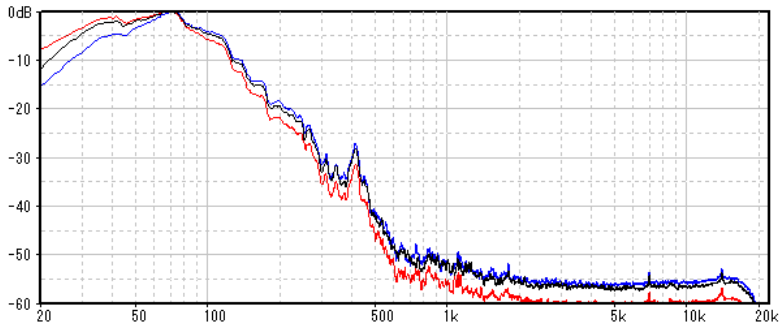


尚、回路シミュレーションは "CircuitViewer"、回路図は "D2CAD"、F特は "MySpeaker" と "DSSF3"、板取図は "LibreOfficeDraw"、オーディオI/Fは "AS372"、測定マイクは "松下WM61A" を使用しました。

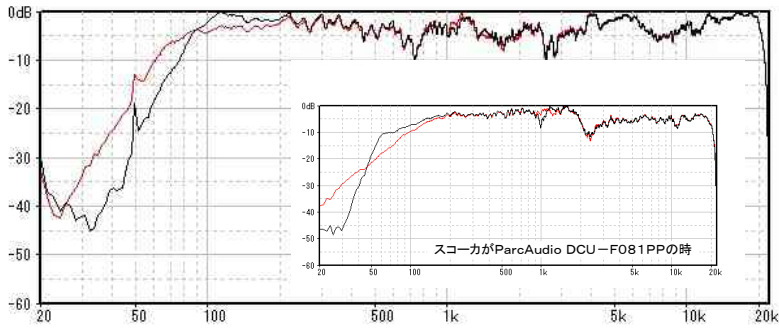
音圧特性

ate: 14/07/25
ime: 12:58:8

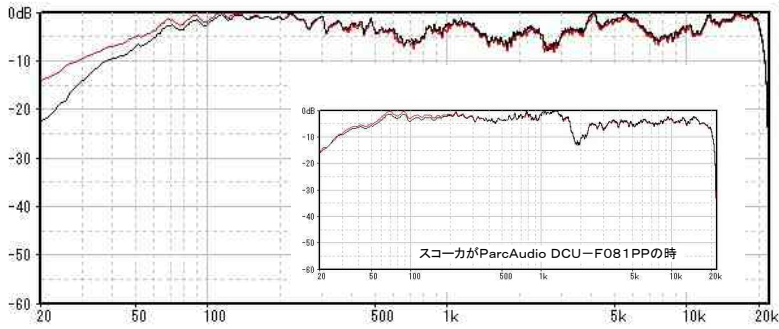
ネットワーク回路と特性



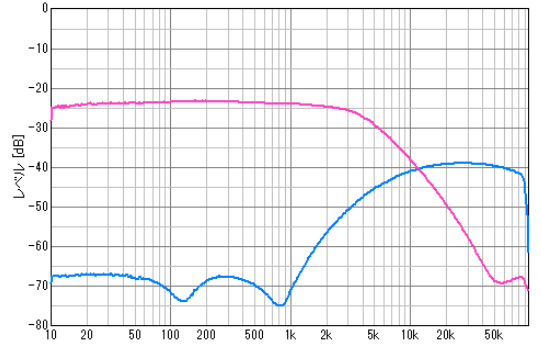
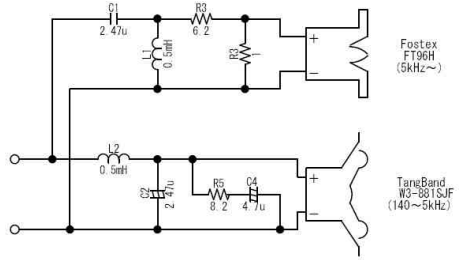
低音部周波数特性 黒:バスのレフ、(青:密閉、赤:密閉+ローブースト)



中高音部周波数特性 赤:密閉、(黒:バスのレフ)

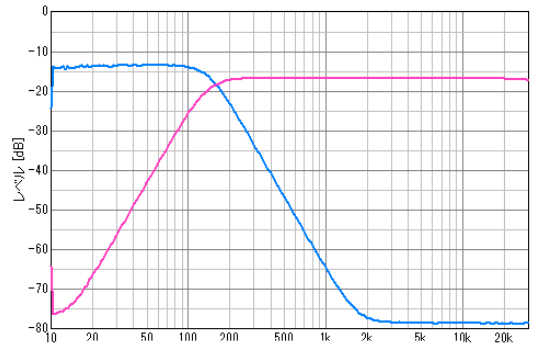


総合周波数特性 黒:バスのレフ、(赤:密閉+ローブースト)



実ユニット接続時のスピーカ印加電圧

チャンネルデバイダの特性



チャンネルデバイダの周波数特性

低音ユニットの設置方法

